

## 県民モニター臨時アンケート調査（兵庫県将来構想試案への意見）の結果

現在、兵庫県では、30年後を展望する新しい将来ビジョンの検討を進めている。新ビジョンの方向性について県民の声を広く聴くため、本年2月に作成した新ビジョンのたたき台となる「兵庫県将来構想試案」を素材として、県民モニターを対象に自由記述を中心とする臨時アンケート調査を実施した。その結果を取りまとめたので結果を公表する。

### <調査結果要旨> ※詳細【別紙】参照

〔調査対象〕 県民モニター<sup>※</sup>2,190人 回答者：1,073人（回答率 49.0%）

注：県内在住又は在勤・在学中でパソコン・スマートフォンを使用できる18歳以上の方（本県職員を除く）

〔調査期間〕 令和3年4月8日～22日 ※インターネット調査

### 【問1】 将来構想試案の39の未来シナリオの中から重視すべきと感じたシナリオを3つ選択

#### <重視すべき未来シナリオ投票結果 トップ5>

順位	6本柱	未来シナリオ	票数
1位	Ⅲつながりの再生	16 最期まで安心して暮らせる社会	393
2位	Ⅲつながりの再生	15 楽しく子育てできる社会	201
3位	Ⅱ開放性の徹底	11 活躍するシニア	179
4位	Ⅰ個性の追求	2 活力を支える健康	172
5位	Ⅰ個性の追求	1 自分らしさを追求できる社会	150

### 【問2】 問1で選んだ未来シナリオごとに、選んだ理由、その他意見を記入（自由記述）

#### <第1位：16 最期まで安心して暮らせる社会>

- ・老後に不安を感じている人が多いことが背景にある。介護の受け皿が不十分、年金だけでは暮らしていけない、独り身で暮らすのが不安、寝たきりになるのが不安といった声が多い。

#### <第2位：15 楽しく子育てできる社会>

- ・今の社会が必ずしもそうではないことを窺わせる。経済的な問題、子育て家庭の孤立、親の働き方、受験社会、安心して遊べる場所の少なさなど、子供が育つ環境の厳しさが背景にある。

#### <第3位：11 活躍するシニア>

- ・時間を持て余している高齢者が多いこと、生活のために歳をとっても働いて収入を得る必要がある人がいること、超高齢社会では働ける人が働かないと社会の維持が難しいことが背景にある。

#### <第4位：2 活力を支える健康>

- ・健康と生涯活躍を一体的に捉えている人が多い。健康でなければ必ずしも長寿が望ましいとは言えないとの声があるように、寝たきりや認知症にならずに老いることへの強い願望がある。

#### <第5位：1 自分らしさを追求できる社会>

- ・自分らしさを追求できる人生が一番幸せ、各人の個性が大切にされる社会であることが一番大事といった意見が多数。「固定観念」「同調圧力」など自分らしさの阻害要因を挙げる声も多い。

### 【問3】 その他、将来構想試案への感想、兵庫県の新しい将来ビジョンへの意見（自由記述）

- ・未来はこれから生まれてくる者のためにあるとの主旨から、教育が最重要との意見が聞かれた。
- ・新ビジョンの策定に際しては幅広い県民の声、特に若者の意見を聞くべきとの意見が聞かれた。

## 県民モニター臨時アンケート調査結果

### －兵庫県将来構想試案への意見－

#### <結果要旨>

2021年6月 兵庫県

現在、兵庫県では、30年後を展望する新しい将来ビジョンの検討を進めている。新ビジョンの方向性について県民の声を広く聴くため、本年2月に作成した新ビジョンのたたき台となる「兵庫県将来構想試案」を素材として、県民モニターを対象に自由記述を中心とする臨時アンケート調査を実施した。

#### 1 調査概要

- |        |                                     |  |
|--------|-------------------------------------|--|
| 1 調査対象 | 県民モニター2,190人                        | ※回答者の年齢構成<br>40未満7.4%、40代14.4%、<br>50代21.6%、60代24.5%、<br>70代25.9%、80以上6.2% |
| 2 調査期間 | 2021（令和3）年4月8日～22日                  |  |
| 3 調査方法 | 県ホームページ上のアンケートフォームに入力               |  |
| 4 回答者数 | 1,073名（回答率49.0%）                    |  |
| 5 調査項目 | 将来構想試案の39の未来シナリオのうち重視すべきシナリオ3つとその理由 |  |

#### <調査票>

#### 臨時アンケート調査

令和3年4月 兵庫県

現在、県では、30年後の2050年の兵庫のめざす姿を示す新しい将来ビジョンの検討を進めています（本年度内策定目標）。2月には、「将来こうなっていたらいいな」という社会の姿を39の未来シナリオとして示した「将来構想試案」を作成しました。これをもとに、県民の皆さんとより具体的な将来のあるべき姿を考えていきたいと思っています。

そこで、県民モニターの皆様に、この「将来構想試案」をご覧ください、率直なご意見をお寄せいただきたく、臨時のアンケート調査を実施することとしました。

以下のURLから「将来構想試案」（全8ページ）の39の未来シナリオをご一読いただいた後、良いと思った未来シナリオ3つとその理由をご回答ください。

お忙しいところ大変恐縮ですが、ご協力よろしく願いいたします。

※詳細版（全74ページ）も合わせて掲示しています。

問1 「将来構想試案」の39の未来シナリオの中から、是非このような未来であってほしい、このような視点を重視すべきと感じたシナリオを3つ選んでください。

問2 問1で選んだ未来シナリオについて、選ばれた理由をそれぞれ記入ください。こうすればもっと良くなる、この点は注意すべき、こんな取組がシナリオの実現に役立つのではないかなどのご意見もあれば是非ご記入ください。（最大300字）

問3 その他、将来構想試案への感想、将来への期待や不安に感じていることなど、兵庫県の新しい将来ビジョンへのご意見を自由にお書きください。（最大300字）

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

## 2 結果概要

将来構想試案の 39 の未来シナリオに対して県民モニター1,073 名から寄せられた意見を兵庫県の新しい将来ビジョンの検討に活かすため、テキストマイニングの手法も活用し、膨大な意見の中から見えてくる新ビジョンの課題と方向性を考察する形で調査結果を取りまとめた。

### 問1 重視すべき未来シナリオはどれか

#### <概観>

- ✓ 将来構想試案の 39 の未来シナリオのうち重視すべきシナリオ第1位は「16 最期まで安心して暮らせる社会」で、計 393 票と群を抜いて多くの支持を集めた。県全体で進む人口の高齢化を反映し、人生の最期まで安心して暮らせる社会の実現を求める県民が多いことが分かった。

#### <重視すべき未来シナリオ トップ10>

順位	6本柱	未来シナリオ	得票数
1位	Ⅲ つながりの再生	16 最期まで安心して暮らせる社会	393
2位	Ⅲ つながりの再生	15 楽しく子育てできる社会	201
3位	Ⅱ 開放性の徹底	11 活躍するシニア	179
4位	Ⅰ 個性の追求	2 活力を支える健康	172
5位	Ⅰ 個性の追求	1 自分らしさを追求できる社会	150
6位	Ⅱ 開放性の徹底	8 多文化が入り混じる兵庫	134
7位	Ⅰ 個性の追求	3 あふれる学びの場	122
7位	Ⅰ 個性の追求	6 ものづくり産業の革新	122
9位	Ⅵ 次代への責任	37 危機に強い地域	118
10位	Ⅳ 集中から分散へ	22 自然と共にある暮らし	113

#### <属性別の選択の傾向>

- ✓ 性別：「7 進化する御食国」「10 なくなるジェンダーバイアス」「23 自由になる働き方」は女性の方が支持。「6 ものづくり産業の革新」「26 進化する自治体」「29 甦る豊かな自然」は男性の方が支持。
- ✓ 年齢：年代が上がるほど「11 活躍するシニア」「14 つながりを広げ、深める社会」を支持。年代が下がるほど支持が増えるのは「23 自由になる働き方」。若い世代ほど自由な働き方を求める傾向。
- ✓ 居住地域：「21 都市と田舎の共生」は都市部より地方部が支持。「6 ものづくり産業の革新」「8 多文化が入り混じる兵庫」「14 つながりを広げ、深める社会」「25 快適になる移動」も地域差が顕著。

### 問2 その未来シナリオを選んだ理由等

#### <第1位：16 最期まで安心して暮らせる社会>

- ✓ 老後に不安を感じている人の多さが背景にある。介護の受け皿が十分でないことへの不安、年金だけでは暮らしていけない不安、独り身で暮らすことへの不安のほか、寝たきりへの不安も大きい。

#### <第2位：15 楽しく子育てできる社会>

- ✓ 今の社会が必ずしもそうではないことを窺わせる。経済的な問題、子育て家庭の孤立、親の働き方、受験社会、安心して外遊びができる場所の少なさなど、子供を取り巻く環境の厳しさが背景にある。

#### <第3位：11 活躍するシニア>

- ✓ 時間を持て余している高齢者が多いこと、生活のために歳をとっても働いて収入を得る必要がある人がいること、超高齢社会では働ける人が働かないと社会の維持が難しいことが背景にある。

<第4位：2 活力を支える健康>

- ✓ 健康と生涯活躍を一体的に捉えている人が多い。健康でなければ必ずしも長寿が望ましいとは言えないとの声に象徴されるように、寝たきりや認知症にならずに老いることへの強い願望がある。

<第5位：1 自分らしさを追求できる社会>

- ✓ 自分らしさを追求できる人生が一番幸せ、各人の個性が大切にされる社会であることが一番大事といった意見が多数。一方で「固定観念」「同調圧力」など自分らしさの阻害要因を挙げる声も多い。

<第6位：8 多文化が入り混じる兵庫>

- ✓ いち早く外国の文化を取り込んできた強みを更に伸ばすのが兵庫らしいとの意見が多数。今後海外の労働力に頼らざるを得ないので外国人と共生する社会を築いていく必要があるとの意見も多い。

<第7位：3 あふれる学びの場>

- ✓ 変化の激しい時代だからこそ、また、伸びる寿命を豊かに生き切るためにも、生涯を通じた学びが重要と考える人が多数。学ばなければ置いていかれるといった焦りを感じている人も多い模様。

<第7位：6 ものづくり産業の革新>

- ✓ ものづくりが兵庫の産業の特色として認知され、その発展が強く期待されている。時代の変化に対応するためにはこれまでの殻を破る取組が必要で、そのために企業の経営革新が求められている。

<第9位：37 危機に強い地域>

- ✓ 安全は、あらゆる生活、産業の基盤であるとの意見が多数。コロナ禍により国、自治体の危機管理能力向上の必要性が痛感される中、迫りくる南海トラフ地震への備えを急ぐべきとの意見が多い。

<第10位：22 自然と共にある暮らし>

- ✓ 自然に囲まれて暮らすのが本来の人間のあり様だとする意見が多数。また、大都市に隣接して山、川、海の多様な自然環境を有する兵庫ならではの強みを活かせる将来像だと意見も多い。

<その他>

- ✓ 「14 つながりを広げ、深める社会」では、つながりの希薄化を懸念する声が多く。何をつながりと思うかは世代によって異なることを前提に、今後育てるべきつながりの形を探っていく必要がある。
- ✓ 「32 人に投資する社会」では、人が最大の資源との意見が多数。人材育成にこそ税金を使うべき、子供の教育の充実が必要、社会全体で大人の学び直しを促進する必要があるとの声が聞かれた。

### 問3 その他将来構想試案への感想、新しい将来ビジョンへの意見

- ✓ 未来シナリオの数が多すぎる、項目を絞った明確で分かりやすいビジョンにすべきとの意見が多数。
- ✓ 未来はこれから生まれてくる者のためにあるとの主旨から、教育が最も重要との意見が聞かれた。
- ✓ 新ビジョンの策定に当たっては幅広い県民の声、特に若者の意見を聞くべきとの意見が聞かれた。
- ✓ 新ビジョンの具体化に期待する声が多く。ポイントを絞った革新的な取組に期待が集まっている。

【問合せ先】企画県民部ビジョン局ビジョン課 078-362-3034

※県 HP「新ビジョン策定に向けた調査・研究」に詳細版を掲載

<http://web.pref.hyogo.lg.jp/kk07/visionresearch.html>